

令和5年度（2023年度）学校評価書

北海道霧多布高等学校

令和5年度 重点目標	
1	わかる喜びを味わう授業を実践し、主体的に学習に取り組む生徒を育てる。
2	心身の健康と自らを律する姿勢を大切に、他者と協働できる人間性豊かな生徒を育てる。
3	生徒のやる気と可能性を引き出し、自己実現に粘り強く取り組む生徒を育てる。
4	地域との密接な連携のもと、町民に信頼され、地域に貢献する生徒を育てる。

A：そう思う B：おおむねそう思う C：不十分である D：改善を要する

領域	対象	No	今年度の重点目標	目標達成のための評価の観点	評価			改善・充実の方策	学校関係者評価
					保護者	教職員	学校(案)		
教育活動	学習指導	1	授業改善による学習意欲の喚起	授業評価や校内研修などのデータを分析し、授業改善に活用することにより、学習者の意欲を高めることができたか。	B	B	B	○TTや習熟度別学習により、生徒の実態に即した学習指導に一定の成果がみられた。来年度は、定期考査期間を設定せず、年間を通して各科目で単元テスト等を実施し、実態に沿った観点別評価を行うとともに、自己調整学習力を養い家庭学習の定着化の推進を図る。また、昨年度冬から導入が始まった1人1端末における指導方法の工夫に努め、「誰一人取り残すことのないわかる授業」をめざし、教職員研修の充実に努める。	B
		2	個に応じたきめ細かな学習指導の充実	個に応じた学習指導の教科ごとの工夫・改善（特にICTの活用など）により、家庭学習に持続的に取り組む生徒を増やすことができたか。	B	B			
	生徒指導	3	生徒会活動の自主的な運営推進	生徒会執行部及び各委員会が積極的に、日常の学校生活に課題意識を持ち、その改善に向けた取組を推進する支援を行えたか。	B	B	B	○コロナ禍が明け、生徒会執行部を中心として従来に近い校内外活動を行うことができた。今後も、他校交流の成果を活かし、生徒の学校生活の一層の改善のため、課題設定と解決の視点をもった自治意識の高い生徒会運営ができるよう、教職員による支援を一層充実させる。	A
		4	生徒指導の在り方検討	生徒心得を始めとする規程を確認するとともに、生徒・保護者等の意向も踏まえ、今後の生徒指導の在り方について検討できたか。	B	B			
	進路指導	5	個別支援制度の充実	生徒個々の可能性を引き出し、進路実現に向けた継続的な取組により指導できたか。	B	B	B	○キャリア教育の活動をポートフォリオ化することで、生徒個々の特性、希望に応じた適切な進路指導が継続された。今後は、蓄積された進路活動データの分析とそれに応じた利活用の方策、さらに探究活動やガイダンス機能を強化した系統的な進路活動が推進されるよう、運営計画を再構築する。また、学校ホームページや学校便りなどとおして、生徒や保護者、地域の方々に対する情報発信を充実させる。	B
		6	適切な情報発信	生徒・保護者及び地域の方に理解してもらいたい情報を、わかりやすく継続して情報発信することができたか。	B	B			
	健康安全指導	7	生命を大切にする教育の充実	生徒の健全育成を促し、いじめの未然防止に向けた取組が実施できたか。	A	B	B	○定期的ないじめ防止対策委員会や教育相談委員会の開催により、いじめや悩みを抱える生徒の情報を速やかに把握し、組織的に生徒に丁寧な対応をすることができた。また、年度内で浜中町主催のものも含め3回の津波防災訓練を実施し、本校の立地特性を常に意識した防災体制を維持できた。今後は、本校が1次避難場所になることから、町と連携した避難ができるよう避難体制をもう一度見直すことも必要である。	A
		8	防災意識の向上	生徒の津波などの自然災害への意識向上を図ることができたか。	B	B			
		9	食と健康	授業や給食を通じて、食育指導や栄養バランスについての指導ができたか。	B	B			
学校関係者意見等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教ある進路の中から本校を選択してくれた生徒達の三年間という時間を無駄にはいけません。霧高を選んで良かったと思ってもらえるよう教員の皆さんの更なる尽力を期待します。勿論、生徒自身の心構えは大事ですが、7割は先生方の情熱に係っていると私は思います。</li> <li>・現在、日本各地で災害が発生しており、千島海溝地震も想定されています。今後も継続的に避難訓練を実施していただき、災害が発生した場合、冷静に行動し自信の命を守るように指導していただきたい。</li> </ul>							
学校運営	開かれた学校づくり	10	新教育課程の検討	新学習指導要領に対応する教育課程編成に向け、情報収集及び検討会等を適切に行うことができたか。	B	B	B	○1, 2学年は、新学習指導要領のもとでの授業展開となっており、指導と評価に関する研修で得たことをもとに、実際に実施して改善点を洗い出した。今後は、本校のめざす生徒像を常に意識したカリキュラムの精選と運用のため、更なる組織的な授業改善に力を入れる。また、総合的な探究の時間（特に、浜中分野）を軸として、幅広い教科・科目における学校間連携や地域の教育資源の発掘を継続する。	B
		11	町内小中学校との連携推進	授業公開、学校訪問、情報発信の工夫などにより、町内での本校教育活動への理解が進み、本校への進学率を向上できたか。					
	組織・運営	12	学校評価の改善	学校課題の速やかな把握に努め、課題解決に向けた取組を年度内に実行できたか。	B	B	B	○働き方改革の観点から、自己の働き方を見つめなおし、業務の効率化や在校時間を意識した働き方を行なうようになった、また、ミドルリーダーを核として、社会変化に対応した学校課題を見出せるようになった。今後は、その学校課題を解決するための方策を考え、古い固定観念にとらわれないようなアイデアを出してもらい、学校改善に努める。	B
		13	学校運営の見直し	分掌業務量、運営の在り方などについて再確認し、「働き方改革」を見据え、円滑で効果的な運営に向け改善できたか。					
	教員の資質向上	14	校内研修の充実	基本的な研修を積み上げ、危機管理を始めとする重要な校務に対し、全職員が同じ歩調で歩む体制づくりを推進できたか。	B	B	B	○研修委員会により危機管理や生徒理解、診断テスト分析などの研修会を企画するとともに管内研究会やオンラインによる各種研修に多くの教職員が積極的に研鑽を深めた。今後は、教職員の研修報告を積極的に共有し、資質向上に向け切磋琢磨する雰囲気を向上させると共に、道内外における各種研修の機会について、教職員に積極的に周知し、本校教育活動の充実に一層寄与できるよう努めていく。	B
15		校外研修の共有	不定期な研修報告を資質向上への意識喚起の機会とするとともに、教員の相互理解促進の機会として活用することができたか。	B					
学校関係者意見等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生方のコミュニケーションがうまく回っているように見受けられます。多分、どの先生も熱心なのでしょうね。</li> <li>・少子化の影響により生徒数の減少が懸念されます。町内に限らず、他所からの入学や編入が可能となるような取組が必要かと思われます。</li> </ul>							

令和5年度 学校評価に係る教職員アンケート集計表

北海道霧多布高等学校

次のA～D(A：そう思う B：おおむねそう思う C：不十分である D：改善を要する)のいずれかを○で囲んで下さい。

令和6年1月18日

領域	対象	No	今年度の重点目標	質問項目	数値	A	B	C	D	全体
教育活動	学習指導	1	授業改善による学習意欲の喚起	授業評価や校内研修などのデータを分析し、授業改善に活用することにより、学習者の意欲を高めることができた。	数	2	11	2	0	15
					%	13.3	73.3	13.3	0.0	100
		2	個に応じたきめ細かな学習指導の充実	個に応じた学習指導の教科ごとの工夫・改善（特にICTの活用など）により、家庭学習に持続的に取り組む生徒を増やすことができた。	数	1	8	6	0	15
					%	6.7	53.3	40.0	0.0	100.0
	生徒指導	3	生徒会活動の積極的な運営への支援	生徒会執行部及び各委員会が積極的に、日常の学校生活に課題意識をもち、その改善に向けた取組を推進する支援を行えた。	数	1	11	3	0	15
					%	6.7	73.3	20.0	0.0	100
	4	生徒指導の在り方検討	生徒心得を始めとする規程を確認するとともに、生徒・保護者等の意向も踏まえ、今後の生徒指導の在り方について検討できた。	数	3	8	4	0	15	
				%	20.0	53.3	26.7	0.0	100	
	進路指導	5	個別支援制度の充実	生徒個々の可能性を引き出し、進路実現に向けた継続的な取組により指導できた。	数	3	6	6	0	15
					%	20.0	40.0	40.0	0.0	100
		6	適切な情報発信	生徒・保護者及び地域の方に理解してもらいたい情報を、わかりやすく継続して情報発信することができた。	数	3	9	3	0	15
					%	20.0	60.0	20.0	0.0	100
	健康安全指導	7	生命を大切にする教育の充実	生徒の健全育成を促し、いじめの未然防止に向けた取り組みが実施できた。	数	4	10	1	0	15
					%	26.7	66.7	6.7	0.0	100
		8	防災意識の向上	生徒の津波などの自然災害への意識向上を図ることができた。	数	6	9	0	0	15
%	40.0				60.0	0.0	0.0	100		
9	食と健康	授業や給食を通じて、食育指導や栄養バランスについての指導ができた。	数	3	11	1	0	15		
			%	20.0	73.3	6.7	0.0	100		
学校運営	開かれた学校づくり	10	現教育課程の検討・改善	令和6年度完全実施となる現教育課程編成の運営にあたり、運営上の諸問題の洗い出しや改善に向けての道程を構築することができた。	数	2	11	1	1	15
					%	13.3	73.3	6.7	6.7	100
	11	町内小中学校との連携推進	授業公開、学校訪問、情報発信の工夫などにより、町内での本校教育活動への理解が進み、本校への進学率を向上できた。	数	4	6	5	0	15	
				%	26.7	40.0	33.3	0.0	100	
	組織・運営	12	学校評価の充実	学校課題の速やかな把握に努め、課題解決に向けた取組を年度内に実行できた。	数	3	9	3	0	15
					%	20.0	60.0	20.0	0.0	100
	13	学校運営の見直し	分掌業務量、運営の在り方などについて再確認し、「働き方改革」を見据え、円滑で効果的な運営に向け改善できた。	数	2	8	5	0	15	
				%	13.3	53.3	33.3	0.0	100	
	教員の資質向上	14	校内研修の充実	基本的な研修を積み上げ、危機管理を始めとする重要な校務に対し、全職員が同じ歩調で歩む体制づくりを推進できた。	数	3	10	2	0	15
					%	20.0	66.7	13.3	0.0	100
15		校外研修の共有	オンラインも含めた不定期な研修報告を資質向上への意識喚起の機会とするとともに、教員の相互理解促進の機会として活用することができた。	数	3	10	2	0	15	
	%			20.0	66.7	13.3	0.0	100		

# 令和5年度学校評価に係る保護者アンケート

北海道霧多布高等学校

## 1 教育活動について

(A: そう思う B: おおむねそう思う C: 不十分である D: 改善を要する)

令和6年1月18日

No	質問事項	数値	全校保護者					1学年保護者					2学年保護者					3学年保護者				
			A	B	C	D	合計	A	B	C	D	合計	A	B	C	D	合計	A	B	C	D	合計
1	霧多布高校は、生徒にとって質の高い授業を行い、学力の向上を図っている。	数	10	23	4	0	37	3	8	2	0	13	2	11	1	0	14	5	4	1	0	10
		%	27.0	62.2	10.8	0.0	100	23.1	61.5	15.4	0.0	100	14.3	78.6	7.1	0.0	100	50.0	40.0	10.0	0.0	100
2	霧多布高校は、放課後学習や家庭における学習課題など、授業をサポートする取り組みを実施している。	数	14	19	4	0	37	3	8	2	0	13	5	7	2	0	14	6	4	0	0	10
		%	37.8	51.4	10.8	0.0	100	23.1	61.5	15.4	0.0	100	35.7	50.0	14.3	0.0	100	60.0	40.0	0.0	0.0	100
3	霧多布高校は、部活動や生徒会活動を活性化し、生徒による主体的な活動が行われている。	数	14	19	2	2	37	5	7	1	0	13	5	7	1	1	14	4	5	0	1	10
		%	37.8	51.4	5.4	5.4	100	38.5	53.8	7.7	0.0	100	35.7	50.0	7.1	7.1	100	40.0	50.0	0.0	10.0	100
4	霧多布高校は、規律を重んじる意識・態度を身につけ、生徒の事故指導力を育成している。	数	10	20	6	1	37	3	6	4	0	13	4	9	1	0	14	3	5	1	1	10
		%	27.0	54.1	16.2	2.7	100	23.1	46.2	30.8	0.0	100	28.6	64.3	7.1	0.0	100	30.0	50.0	10.0	10.0	100
5	霧多布高校は、生徒及び保護者と連携して、3年間を見通した継続的で適切な進路指導を行っている。	数	13	17	7	0	37	3	5	5	0	13	6	7	1	0	14	4	5	1	0	10
		%	35.1	45.9	18.9	0.0	100	23.1	38.5	38.5	0.0	100	42.9	50.0	7.1	0.0	100	40.0	50.0	10.0	0.0	100
6	霧多布高校は、ホームページ、学校だより、学級通信等を活用して、学校の教育活動や進路等の情報を積極的に発信している。	数	14	15	8	0	37	3	6	4	0	13	6	6	2	0	14	5	3	2	0	10
		%	37.8	40.5	21.6	0.0	100	23.1	46.2	30.8	0.0	100	42.9	42.9	14.3	0.0	100	50.0	30.0	20.0	0.0	100
7	霧多布高校は、いじめのない安全安心な学校環境を整えとともに、教育相談やカウンセリングを充実させている。	数	15	12	8	2	37	3	5	5	0	13	6	5	2	1	14	6	2	1	1	10
		%	40.5	32.4	21.6	5.4	100	23.1	38.5	38.5	0.0	100	42.9	35.7	14.3	7.1	100	60.0	20.0	10.0	10.0	100
8	霧多布高校は、津波などの自然災害への意識向上を図り、命を守るための行動力を育成している。	数	15	17	5	0	37	3	7	3	0	13	6	6	2	0	14	6	4	0	0	10
		%	40.5	45.9	13.5	0.0	100	23.1	53.8	23.1	0.0	100	42.9	42.9	14.3	0.0	100	60.0	40.0	0.0	0.0	100
9	霧多布高校は、給食や授業を通じて、食育指導や栄養バランスについての指導を充実させている。	数	16	17	3	1	37	5	6	2	0	13	6	8	0	0	14	5	3	1	1	10
		%	43.2	45.9	8.1	2.7	100	38.5	46.2	15.4	0.0	100	42.9	57.1	0.0	0.0	100	50.0	30.0	10.0	10.0	100
10	霧多布高校は、授業や行事などにおいて町内の様々な組織との連携を推進し、生徒や保護者・地域の期待や要望に応えている。	数	14	17	6	0	37	5	6	2	0	13	4	7	3	0	14	5	4	1	0	10
		%	37.8	45.9	16.2	0.0	100	38.5	46.2	15.4	0.0	100	28.6	50.0	21.4	0.0	100	50.0	40.0	10.0	0.0	100
11	霧多布高校は、学校課題の速やかな把握に努め、課題解決に向けた取組を実行している。	数	10	13	13	1	37	1	7	4	1	13	5	2	7	0	14	4	4	2	0	10
		%	27.0	35.1	35.1	2.7	100	7.7	53.8	30.8	7.7	100	35.7	14.3	50.0	0.0	100	40.0	40.0	20.0	0.0	100
12	霧多布高校は、教職員の資質向上のため、研修を推進し、生徒にとって質の高い教育の向上に努めている。	数	9	19	7	2	37	2	7	4	0	13	4	8	2	0	14	3	4	1	2	10
		%	24.3	51.4	18.9	5.4	100	15.4	53.8	30.8	0.0	100	28.6	57.1	14.3	0.0	100	30.0	40.0	10.0	20.0	100

### ●霧多布高校への意見・要望

・体育会系の部活動は、かなり弱いと思います。もっと、成績を出せていけば、魅力の一つとなるので、上を目指す練習をして成績を出して欲しいです。また、進路指導も弱いのではないかと思います。子供達が何の職業につきたいか（将来の職業を見つげられてなく、ただ何となく進んでいる子を極力無くす）、もっといろんな発信又は体験をさせ、しっかりとその道に進めるような取り組みるようにして欲しいです。

・進学校でもないのに、進学する生徒を中心に指導するのは如何なものかと思います。もう少し就職する生徒の事も考えて欲しいです。

・中学生との交流があったと聞き、お互い良い刺激になっていいと思いました。授業によっては、うるさくてあまり先生の話が聞こえないこともあると聞きました。

・生徒の声をもう少し聞いて欲しいと思います。生徒によって態度や接し方が違う教諭がいるようです。それによって嫌な思いをしている生徒がいるようです。

・女子生徒間でのトラブルが多いと聞きますが、適切な指導をお願いいたします。

・生徒達の行っている清掃活動はとてもいい事だと思うので、これからも続けていってほしい。